

## (専門分野)

授業科目	母性看護学演習	講師	教員	実務経験	単位数
				○	1
学習目標	1.母性の対象となる人々の健康の保持・増進に向けた支援について理解する。 2.母性看護に必要な援助技術が習得できる。				時間数
					30
					学年
					2
					時期
回数	主 題	学 習 内 容		授業方法	講師
1~4	母性看護の対象への指導計画の立案と評価 (妊娠期の指導)	1.妊婦の理解 1)妊婦体験 2.妊娠期の事例を用いた援助の実際 1)妊婦の診察技術 レオポルド触診法・子宮底長の測定・分娩監視装置の装着 2)妊婦への保健指導立案・実施 妊産婦体操・日常生活のセルフケア・分娩及び育児準備		講義 演習	教員
5	母性看護に必要な援助技術 (産婦への援助技術)	1.分娩進行に応じた援助 2.呼吸法・産痛緩和とマッサージ法 1)呼吸法 2)産痛緩和 (1)リラクゼーション (2)圧迫法・マッサージ		講義 演習	教員
6~7	マタニティサイクルの対象者への看護過程の展開 (基本的考え方)	1.褥婦と新生児の看護過程 1)アセスメント 2)看護診断 3)看護計画		講義 演習	教員
		2.健康課題に応じた看護 1)子宮復古 2)母乳栄養 3)育児技術 4)母子愛着形成		演習	教員
8~12	母性看護に必要な援助技術 (褥婦への援助技術)	1.褥婦への援助技術 1)子宮復古の観察 2)乳房マッサージ 3)産褥体操 4)骨盤ケア		講義 演習	教員
	母性看護の対象への指導計画の立案と評価	1.褥婦の健康の維持・増進 指導計画の立案と評価 2.褥婦の育児技術習得 指導計画の立案と評価			
13~14	母性看護に必要な援助技術 (新生児の援助技術)	1.新生児の観察 1)バイタルサインの測定 2)身体計測 2.新生児の日常生活の援助 1)おむつ交換・更衣 2)沐浴		演習	教員
15	評価	単位認定試験 (45分) まとめ			
評価方法	筆記試験 50点 課題 50点	テキスト	系統看護学講座 母性看護学[2]母性看護学各論		